

公益財団法人
**横浜学術
教育振興財団**

YOKOHAMA ACADEMIC
FOUNDATION
since 1997

公益財団法人横浜学術教育振興財団

理事長 矢部丈太郎

横浜学術教育振興財団は、横浜市立大学創立60周年記念事業の一環として、卒業生等からの寄付を基金として平成9年3月に創立され、平成24年1月に新法人制度に基づく公益財団法人へ移行しました。設立後15年を経過しましたが、この間、横浜市を中心とする神奈川県下の学術・教育の振興を図ることを目的として、教育はもとより経済、社会、福祉、科学等あらゆる分野の発展・向上に努めてまいりました。

具体的な活動としては、優れた研究活動や研究論文に対する助成、国際交流を視野に入れた海外における研究活動の支援を積極的に推進してまいりました。そのほか、生涯学習の一環として一般市民を対象とした学術シンポジウムや講演会の開催など幅広い活動を行っております。

今日、グローバル化社会の中で日本の製造業は国際競争力が低下し、危機的な状況にあると言われています。少子高齢化、東日本災害からの復興、原子力発電からの脱却など取り組まなければならない問題が山積しています。他方、世界に目を転ずれば、中国やインドといった新興諸国の著しい経済発展など、日本を取り巻く環境は不透明かつ急激に変貌を遂げようとしております。

このような状況の下で、わが国が今後とも活力ある豊かな社会を実現していくためには、地域社会それぞれが学術・教育の基盤を整備し、国全体の問題として総合的な調和のとれた振興を図っていくことがますます重要になってくるものと思われます。

当財団といたしましても、地域貢献の一翼を担うべく、新時代に向けた創造的な研究成果や技術革新に対してより充実した支援・助成活動を行っていく所存であります。今後とも一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

概要

名 称：公益財団法人横浜学術教育振興財団

所 在 地：横浜市金沢区瀬戸 22 番 2 号 横浜市立大学内

設立の目的：研究者への支援に関する事業を行い、横浜市における学術・教育の振興を図り、もって広く社会の学術・文化の発展に寄与することを目的として設立された。

設立の経緯：平成元年 6 月 横浜市立大学創立 60 周年記念事業後援会において記念事業の一環として学術教育振興財団の創設を提言

平成 9 年 3 月 財団法人横浜教育振興財団設立

平成 24 年 1 月 公益財団法人横浜教育振興財団に名称変更

基 本 財 産：1 億円

事 業 内 容：横浜市内の大学及び研究機関で研究に従事する者の研究活動に対する支援

◆研究費の助成

◆刊行費の助成

◆渡航費の助成

その他この法人の目的を達成するために必要な事業

研究助成事業

〈順不同・敬称略〉〈所属・役職名は助成交付決定時による〉

◆平成18年度

高田 芳子	横浜市立大学国際総合科学研究科博士前期2年	営業職における内的モチベーションの探究～ある生産財製造業における調査と考察
李 松林	関東学院大学経済学研究科博士後期3年	中国における廃棄物処理とリサイクル政策—その現状と課題— —2006年度中国現地調査に基づく調査研究報告書—
関本 奏子	横浜市立大学国際総合科学研究科博士前期2年	コロナ放電の基礎研究
松井 敦央	横浜市立大学総合理学研究科博士後期3年	二探針 STM 法によるナノ構造体の構造評価および電気伝導特性の評価
松本 真哉	横浜国立大学教育人間科学部助教授	有機蛍光色素の固体状態における蛍光消光に関する研究
塩崎 一昌	横浜市立大学医学部准教授	横浜市立大学における学生のメンタルヘルスに関する研究 (2) —UPI 調査の分析による最近10年間の変化—
藤澤 聡郎	横浜市立大学医学研究科博士後期	PPAR γ の大腸発癌抑制作用とその機序の解明
林 成彦	横浜市立大学医学研究科博士後期	ラット脂肪由来幹細胞による尿路上皮再生

◆平成19年度

澤田 直宏	横浜市立大学国際総合科学部准教授	新たな市場セグメントに対する既存ビジネスシステムの適応困難性と競争優位逆転の一考察：要素技術・アーキテクチャのレベルでの考察との相違
勝谷 紀子	横浜市立大学国際文化学部非常勤講師	育児ストレスへの不適切な対処行動が抑うつに及ぼす影響 —乳幼児を持つ夫婦を対象とした縦断調査—
石川 良子	横浜市立大学国際文化学部非常勤講師	若者は働くことを通して何を求めているのか —「ひきこもり」の当事者へのインタビューから—
野々瀬真司	横浜市立大学国際総合科学部准教授	エレクトロスプレーイオン化法を用いた生体分子の水和クラスターの生成、構造と反応に関する研究
笠原 浩司	横浜市立大学国際総合科学研究科助教授	出芽酵母リボソームタンパク質遺伝子の転写制御機構の解析
橋本 博	横浜市立大学国際総合科学研究科助教授	DNA 損傷乗り越え合成におけるタンパク質複合体の構造研究
永田 崇	横浜市立大学国際総合科学研究科助教授	植物ウィルスの RNAi サプレッサー 2b に対する阻害剤開発を目指した構造生物学アプローチ
大村 素子	横浜市立大学医学部助手	放射線治療患者の腫瘍由来血漿中 DNA/RNA の経時的定量による治療感受性の判定 培養腫瘍細胞および動物モデルによる検証
堀田 千絵	横浜市立大学医学部助教授	新規抑制性 NKT 細胞の免疫抑制機序解明
全 紅	横浜市立大学医学部共同研究員	cAMP 依存性動脈管内膜肥厚の分子機序

◆平成20年度

長谷川真里	横浜市立大学国際総合科学部准教授	人権にかかわるジレンマについての社会的判断：回答者の特性による判断基準の差の検討
中村さやか	横浜市立大学国際総合科学部准教授	高齢者の子供との同居についての実証分析
平田 博紀	横浜市立大学国際総合科学研究科博士後期課程	神奈川県内の経営革新支援承認企業の財務特徴
金 昌瑛	横浜市立大学国際総合科学研究科博士後期2年	韓国の市民運動と日本の市民活動—日韓比較を中心に
本多 尚	横浜市立大学国際総合科学研究科特任教員(准教授)	ゼオライトの表面電荷と包蔵水・ゲスト分子間の相互作用
片山 郁文	横浜国立大学学際プロジェクト研究センター助教授	光捕集性デンドリマーにおけるエネルギー伝達機構の解明
佐野弥生子	横浜市立大学国際総合科学研究科特別研究員	ユリ葯の裂開過程における細胞生化学的解析、および葯の裂開が抑制されたユリの市場調査
古川亜矢子	横浜市立大学国際総合科学研究科博士研究員	HIV-1 ウィルス感染の防御に関与する APOBEC3G の立体構造とその構造に基づく分子認識機構の解明
奥村 敏	横浜市立大学医学研究科准教授	新しいベータアドレナリン受容体シグナル Epac の心不全発症における役割と新しい心不全治療
上條 亜紀	横浜市立大学附属病院准教授	自己血由来フィブリン糊の臨床利用に関する基礎条件の検討 ～外科治療、再生医療、三次元細胞培養への応用～
三好 康秀	横浜市立大学附属市民総合医療センター助教授	前立腺癌組織内ホルモン濃度レベルの予後因子としての有用性
阿部 芳憲	日本医科大学老人病研究所助教授	新規 Hedgehog シグナル伝達制御分子の解明

◆平成 20 年度 (奨励研究費)

高橋 明弘 日本大学・横浜商科大学兼任講師
武田 淳 横浜国立大学工学研究院教授
高川 亮 横浜市立大学付属病院
福原俊太郎 横浜市立大学保健管理センター

「独占禁止法と知的財産権」—独占禁止法適用による知的財産権行使の限界—
2光子吸収過程を用いた強相関物質の巨大光応答性を有する磁気秩序制御の研究
胃癌における細胞極性制御システム aPKC タンパクの検討
横浜市立大学における学生のメンタルヘルスに関する研究 (3)
—コミュニケーションツールの変化が及ぼす影響について—

◆平成 21 年度

白石小百合 横浜市立大学国際総合科学部教授
山藤竜太郎 横浜市立大学国際総合科学部准教授
細谷 早里 関東学院大学経済学部准教授
橋本みゆき 横浜市立大学国際総合科学部非常勤講師

及川 雅人 横浜市立大学国際総合科学部准教授
山田 重樹 横浜市立大学国際総合科学部准教授
鈴木 健児 神奈川大学工学部助手
川村 出 横浜国立大学大学院工学研究院研究教員
橋本 博 横浜市立大学生命ナノシステム科学研究科助教
最上 則史 横浜市立大学国際総合科学部特別研究員
三木 健輔 横浜市立大学生命ナノシステム科学研究科博士研究員
大村 素子 横浜市立大学医学部准教授
奥村 敏 横浜市立大学医学研究科准教授

横浜立地企業の現状と課題—企業の立地満足度に関する実証分析
横浜市の自動車産業に関する実証研究
教員の異文化間能力についての調査—日本・フィンランドの比較を中心に
「内縁結婚」あるいは在日韓国・朝鮮人—日本人間の結婚第一世代に関する研究
—川崎市南部の在日韓国・朝鮮人多住地域を中心に
高感度で簡便な微量タンパク質定量法の開発
新規マルチフェロイックス物質として期待される $\text{Co}_x\text{Fe}_{1-x}\text{TiO}_3$ の磁性と誘電特性
圧力直接検知式水圧用減圧弁の安定性解析
In-situ 光照射—個体 NMR 装置による光受容膜タンパク質の光活性化構造の解析
DNA 損傷乗り越え DNA 合成におけるタンパク質複合体の構造生物学的研究
生殖細胞で発現する Argonaute 様遺伝子の単離と発現解析
アムラ皮膚活性化成分の構造と機能解析
腫瘍に対する放射線治療効果を血漿中腫瘍細胞 DNA の経時的定量によって早期判定する
心臓型アデニル酸シクラーゼを治療標的にする高齢化社会にむけた新しい心不全治療

◆平成 22 年度

重田麻紀子 横浜市立大学国際総合科学部准教授
田中 佳容 横浜市立大学国際総合科学部客員准教授
江島 尚俊 大正大学総合佛教研究所研究員
佐藤 彰彦 一橋大学社会学研究科博士後期課程

安光英太郎 横浜市立大学国際総合科学部准教授
澤田 大介 帝京大学薬学部准教授
笠原 浩司 横浜市立大学生命ナノシステム科学研究科助教
永田 崇 横浜市立大学生命ナノシステム科学研究科助教
白井 輝 横浜市立大学医学部教授
藤田 千春 横浜市立大学医学部助教

取締役の競業規制に関する制度論的研究—イギリス法を手がかりとして
病院経営におけるリスク管理、収益管理、情報開示を通じたガバナンス・モデルの確立
大学昇格時における「宗門系大学」の葛藤—龍谷大学と大正大学を中心に—
政策展開過程と住民・行政の意識・行動の変容に関する研究
～「生活の論理」をめぐる相互行為・作用のダイナミクス～
環境に優しい高感度タンパク質染色法の確立と商品化への展開
骨粗鬆症治療薬を指向した新規ビタミン D 製剤の開発研究
出芽酵母リボソームタンパク質遺伝子の転写制御機構の解明
ヒト内在性 HIV 抑制因子と HIV アクセサリー蛋白質を標的とした抗 HIV 薬の創製基盤
これからの地域医療における HIV/AIDS 診療体制の在り方に関する研究
幼児期の発達障害児をもつ母親の生活状況に関する実態調査

◆平成 23 年度

三輪 律江 横浜市立大学学術院国際総合科学群准教授
向野能里子 横浜市立大学
グローバル都市協力研究センター特任助教
氏川 恵次 横浜国立大学国際社会科学部研究科准教授

杉林 和亮 横浜市立大学国際総合科学研究科博士後期課程
石川 裕一 横浜市立大学国際総合科学部助教
西島 喜明 横浜国立大学工学研究院助教
稲垣 怜史 横浜国立大学

学際プロジェクト研究センター特任教員(助教)
中尾 方人 横浜国立大学都市イノベーション研究院特別研究員
小林 正規 千葉工業大学惑星探査研究センター上席研究員
美津島 大 横浜市立大学医学研究科准教授
吉見 竜介 横浜市立大学医学部助教

乳幼児期から子育てを支援する近隣形成のための地域資源に関する調査研究
「乳幼児生活圏」構築に向けた住環境計画を目指して
横浜市と川崎市の都市間の協働による環境と経済を両立した
持続可能なスマート都市構築に関する研究
資源・エネルギー・汚染物質分析用の拡張産業連関表および持続可能性指標
の推計と分析—太陽光エネルギー導入事例の神奈川県産業連関分析と地域
レベル持続可能性指標による事例研究—
水産資源管理に関する経済学的アプローチからの一考察
抗がん活性および神経突起伸長活性を有する Fomitellin acid の合成研究
プラズモニク結晶を用いた光導波路の創成とバイオセンサーへの応用
界面活性剤ミセルを鋳型とした規則性メソポーラスカーボンの調整と
電気二重層キャパシタの電極材への応用
既存木造住宅の外周壁耐震補強効果の検証
小惑星探査機搭載用ダスト検出器の開発
海馬内の記憶痕跡を探索: CA1 内の細領域と AMPA 受容体のシナプス移行
全身性エリテマトーデスおよびシェーグレン症候群における自己抗原 TRIM21
の機能解析と新規治療標的としての可能性の検討

出版刊行助成事業

〈順不同・敬称略〉〈所属・役職名は助成交付決定時による〉

◆平成19年度

坪谷美欧子 横浜市立大学国際総合科学部准教授

『「永続的ソジョナー」中国人のアイデンティティ』 有信堂高文社

◆平成21年度

永岑三千輝 横浜市立大学都市社会文化研究科教授

『ヨーロッパ社会史ー1945年から現在まで』 日本経済評論社

影山摩子弥 横浜市立大学国際総合科学部教授

『地域 CSR が日本を救う』 敬文堂

上村 雄彦 横浜市立大学国際総合科学部准教授

『グローバル・タックスの可能性』 ミネルヴァ書房

◆平成22年度

大澤 彩 法政大学法学部准教授

『不当条項規制の構造と展開』 有斐閣

岡野 泰子 横浜市立大学医学研究科客員研究員

『生命の方程式』 大学教育出版

◆平成23年度

浮田 徹嗣 横浜市立大学学術院国際総合科学群准教授

『ディケアの心理学』 春風社

金子 晋右 横浜市立大学国際総合科学部非常勤講師

『世界大不況と環境危機』 論創社

海外派遣助成事業

〈順不同・敬称略〉〈所属・役職名は助成交付決定時による〉

◆平成18年度

沓名 伸介 横浜市立大学国際総合科学部助手

北京(第3回アジア・オセアニア光生物会議)

吉村 博史 横浜市立大学国際総合科学研究科修士2年

ポルトガル(ダイヤモンド2006)

宇田川太郎 横浜市立大学国際総合科学研究科博士後期2年

ギリシャ(ICCMSE 2006)

村瀬 健文 横浜市立大学国際総合科学研究科博士前期2年

カナダ(第23回国際糖質学会)

吉原 章子 横浜市立大学国際総合科学研究科修士1年

カナダ(第23回国際糖質学会)

平野 桐子 横浜市立大学国際総合科学研究科修士2年

カナダ(第23回国際糖質学会)

岡本 亮 横浜市立大学国際総合科学研究科博士1年

カナダ(第23回国際糖質学会)

西山 文貴 横浜市立大学国際総合科学研究科博士後期1年

フランス(ヨーロッパ表面科学国際会議)

井上 茂 神奈川科学技術アカデミー補助研究員

スウェーデン(第1回Ⅲ族窒化物成長国際シンポジウム)

小関 淳 横浜国立大学環境情報学府博士前期2年

ベルギー(第23回ヨーロッパ結晶学会議)

本郷奈央美 横浜市立大学医学研究科博士課程1年

アメリカ(イムノロジー2006)

佐藤 文孝 横浜市立大学医学研究科博士課程2年

アメリカ(イムノロジー2006)

実木 亨 横浜市立大学医学研究科博士後期課程

アメリカ(北米神経科学会)

松尾 光祐 横浜市立大学医学研究科博士後期課程

アメリカ(アメリカリウマチ学会2006年学術集会)

青木由美恵 横浜市立大学医学部看護学科准教授

イギリス(実践の展開、アクション・リサーチと反省的实践第6回国際会議)

程 超 横浜市立大学医学研究科博士課程2年

アメリカ(第48回米国放射線腫瘍学会総会)

◆平成19年度

杜 軼文 横浜市立大学国際文化学部非常勤講師

中国(文学史編纂の理論と実践 国際学術シンポジウム)

戸板 翔 横浜市立大学国際総合科学研究科博士前期1年

ドイツ(ダイヤモンド2007)

北島菜津子 横浜市立大学国際総合科学研究科博士前期1年

アメリカ(第15回国際結晶成長学会)

向林 祐 横浜市立大学国際総合科学研究科修士1年

アメリカ(第15回国際結晶成長学会)

大矢 直希 横浜市立大学国際総合科学研究科修士2年

アメリカ(第15回国際結晶成長学会)

石田 明大 横浜国立大学工学府修士2年

スペイン(第16回固体の励起状態の動的過程における国際会議)

鈴木 晴久 横浜国立大学工学府修士2年

スペイン(第16回固体の励起状態の動的過程における国際会議)

今 豊紀 横浜国立大学工学府修士2年

スペイン(第16回固体の励起状態の動的過程における国際会議)

佐藤 佐織	横浜国立大学環境情報学府博士後期1年	韓国 (The 3rd East Asia Symposium On Functional Dyes and Advanced Materials)
大野 政人	横浜市立大学運動・スポーツ科学教室客員研究員	オーストラリア (オーストラリアスポーツ医科学会大会)
赤池 徹	横浜市立大学医学研究科博士課程	アメリカ (第80回米国心臓協会学術集会)
只腰 親和	横浜市立大学国際総合科学部教授	イタリア (ヨーロッパ経済学史会議)

◆平成20年度

古屋 充子	横浜市立大学医学研究科准教授	デンマーク (A case of multiple pulmonary cysts associated with Birt-Hogg-Dubé gene mutation)
兵 理絵	藤沢市民病院血液膠原病科診療部主任	スイス (第10回国際悪性リンパ腫会議)
岡野 泰子	横浜市立大学医学研究科特別研究員	ドイツ (HYPERTENSION2008)
黒沢 綾	横浜市立大学国際総合科学研究科博士研究員	ギリシャ (第33回ヨーロッパ生化学会会議・第11回国際生化学・分子生物合同学会)
大山 貴子	横浜市立大学国際総合科学研究科共同研究員	アメリカ (第23回生体系の磁気共鳴国際会議)
榎田 諭	横浜国立大学大学院工学府博士後期2年	フランス (知能ロボットとシステムに関する国際会議)
黄 瑩	横浜市立大学医学研究科博士課程3年	デンマーク (BHD シンポジウム2008・第8回国際VHLシンポジウム)
寺沢 洋平	横浜市立大学国際総合科学研究科博士後期3年	オーストラリア (第11回国際コムギ遺伝学シンポジウム)
鈴木 机倫	横浜市立大学国際総合科学研究科博士後期3年	オーストラリア (WATOC2008)
朽津 敬史	横浜市立大学国際総合科学研究科博士後期1年	オーストラリア (WATOC2008)
笹岡 俊	横浜市立大学国際総合科学研究科博士前期2年	ノルウェー (第24回国際糖質会議)
田邊 康孝	横浜市立大学国際総合科学研究科博士前期2年	ノルウェー (第24回国際糖質会議)
杉本 昌崇	横浜市立大学国際総合科学研究科博士前期課程	オーストラリア (WATOC2008)
畠山 允	横浜市立大学国際総合科学研究科博士前期課程	オーストラリア (WATOC2008)
金子 真人	横浜市立大学国際総合科学研究科博士前期課程	オーストラリア (WATOC2008)
竹田 知弘	横浜市立大学国際総合科学研究科博士前期課程	オーストラリア (WATOC2008)
北田 典央	横浜市立大学国際総合科学研究科博士前期2年	アメリカ (第55回国際アメリカ真空学会シンポジウム)
山田 愛	横浜国立大学工学府博士前期2年	フランス (第15回ルミネッセンス国際会議)
吉村 博史	横浜市立大学国際総合科学研究科博士後期2年	ギリシャ (発展のための科学と技術の国際連合、ナノテクノロジーと応用)
平野 桐子	横浜市立大学国際総合科学研究科博士後期2年	ノルウェー (第24回国際糖質会議)
村瀬 健文	横浜市立大学国際総合科学研究科博士後期2年	ノルウェー (第24回国際糖質会議)

◆平成21年度

阿部 洋	防衛大学校機能材料工学科准教授	イギリス (Aperiodic 2009)
吉澤 望	関東学院大学人間環境学部准教授	オランダ (光の心理的効果に関する国際会議 2009)
戸坂 亜希	横浜市立大学国際総合科学部助教授	スペイン (第10回原子レベルで制御された表面・界面・ナノ構造に関する国際会議)
若生 啓	横浜創英短期大学情報学科講師	フランス (CARBON'09 炭素物質に関する年次国際会議)
望月 出海	横浜市立大学国際総合科学研究科博士後期課程	スペイン (第10回原子レベルで制御された表面・界面・ナノ構造に関する国際会議)
今井 友亮	防衛大学校理工学研究科後期課程	フランス (47th European High Pressure Research Group meeting)
橋爪 絢子	筑波大学人間総合科学研究科博士後期2年	スウェーデン (インタラクト2009)
関本 奏子	横浜市立大学国際総合科学研究科博士後期3年	アメリカ (バイオ燃料作物から発生する有機エアロゾルおよびオゾン前駆体のフィールド観測)
本堂 英	横浜市立大学国際総合科学研究科博士前期課程	ドイツ (量子スピン系における高磁場下での非弾性中性子散乱実験)
北岡 修	横浜市立大学国際総合科学研究科博士前期課程	ドイツ (中性子非弾性散乱による高磁場下での磁気励起の観測)
小泉 亮人	横浜市立大学生命ナノシステム科学研究科博士前期1年	フィンランド (第13回量子化学国際学会)
三好 達也	横浜国立大学環境情報学府修士2年	スペイン (第11回流れ分析国際学会)
滑川 隆	横浜国立大学環境情報学府修士2年	スペイン (第11回流れ分析国際学会)
山元 隆寛	横浜市立大学国際総合科学研究科博士前期2年	ギリシャ (ダイヤモンド2009)
姜 東哲	横浜市立大学国際総合科学研究科修士課程2年	ギリシャ (ダイヤモンド2009)
後藤 純伸	横浜国立大学工学府博士前期2年	韓国 (組立および製造に関する国際会議)
横井 亮	横浜国立大学工学府博士前期2年	韓国 (組立および製造に関する国際会議)

◆平成 22 年度

青木由美恵 横浜市立大学医学部看護学科准教授
 須崎 裕司 東京工業大学資源化学研究所助教授
 島村 珠枝 東京大学医学系研究科博士後期2年
 王 珺 横浜国立大学工学府博士前期2年
 日高 徹郎 横浜国立大学工学府博士前期2年
 江藤 亮平 横浜国立大学環境情報学府博士前期2年
 篠原 洋平 横浜国立大学環境情報学府博士前期2年
 河野 明彦 横浜国立大学環境情報学府博士前期2年
 鈴木 将登 東京農工大学工学府博士前期2年
 小野寺理恵 横浜市立大学生命ナノシステム科学研究科博士前期1年
 沈 夢遠 横浜市立大学生命ナノシステム科学研究科修士1年
 額田 一利 横浜市立大学生命ナノシステム科学研究科博士前期2年
 前田 大晃 横浜市立大学生命ナノシステム科学研究科博士前期1年
 中村さやか 横浜市立大学国際総合科学部准教授
 本多 尚 横浜市立大学生命ナノシステム科学研究科准教授

イギリス（認知症サービス開発センター第4回国際会議）
 オーストリア（第15回国際シクロデキストリンシンポジウム）
 アメリカ（第138回アメリカ公衆衛生学会学術集会）
 アメリカ（2010環太平洋国際化学会議）
 アメリカ（2010環太平洋国際化学会議）
 韓国（第20回物理有機化学国際学会）
 韓国（第20回物理有機化学国際学会）
 韓国（第20回物理有機化学国際学会）
 アメリカ（2010環太平洋国際化学会議）
 アメリカ（2010環太平洋国際化学会議）
 中国（第16回結晶成長国際会議）
 ハンガリー（ダイヤモンド2010）
 ハンガリー（ダイヤモンド2010）
 アメリカ（アメリカ医療経済学会第3回研究大会）
 スイス（第3回超微細相互作用および核四極子相互作用合同国際学会）

◆平成 23 年度

大関 泰裕 横浜市立大学生命ナノシステム科学研究科教授
 佐藤 響子 横浜市立大学大学院国際総合科学群教授
 土屋 慶子 横浜市立大学国際総合科学部非常勤講師
 小野 陽子 横浜市立大学国際総合科学部准教授
 横田香穂梨 津田塾大学国際関係研究所研究員

富谷 朗子 （独）海洋研究開発機構研究員
 湯浅 陽一 関東学院大学文学部准教授
 伊藤 大輔 横浜国立大学工学研究院特別研究教員
 小松 怜史 横浜国立大学環境情報学府博士後期1年
 金 柄淳 横浜国立大学環境情報学府博士3年
 恒川 貴範 横浜国立大学環境情報学府博士前期2年
 松谷 哲嗣 横浜国立大学環境情報学府博士前期2年
 友永 雄也 横浜国立大学工学府博士前期2年

オーストラリア（第24回国際レクチン会議）
 イギリス（第12回国際語用論学会）
 中国（2011年国際応用言語学会 世界会議）
 トルコ（第35回数学教育における心理学国際会議）
 ブラジル（ブラジル北東部レシフェ市におけるストリートチルドレン支援
 NGO の思想と実践に関する研究
 一子ども自身による路上と異なるもうひとつの生き方の主体的な構築を
 めぐって
 フィンランド（第8回欧州シアノバクテリア分子生物学ワークショップ）
 韓国（第3回東アジア環境社会学国際シンポジウム）
 韓国（アジア太平洋安全シンポジウム2011）
 中国（博士課程学生向けコース「セメントとコンクリート」
 スペイン（国際結晶学連合第22回会議）
 スペイン（XI International Conference on Computational
 Plasticity Fundamentals and Applications）
 スペイン（第11回計算塑性力学の基礎と応用に関する国際会議）
 中国（The 4th Asia-Pacific NMR Symposium）

学術シンポジウムの実施

◆平成18年度

〈市民公開講座〉

日 時 2006年11月16日(木)
 会 場 横浜市立大学 カメリアホール
 テーマ 異文化に暮らす～アジアからの留学生
 参加者 約250名

◆平成 20 年度

〈市民公開講座〉

日 時 2009年2月8日(日)
 会 場 横浜市立大学 エクステンションセンター
 テーマ 市民とテロリズム～国際社会の現状～
 参加者 約100名

公益財団法人 **横浜学術教育振興財団**

〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸22番2号 横浜市立大学内

T E L : 045 (787) 2396

F A X : 045 (787) 2397

U R L : <http://www.hamakko.or.jp/~yokogaku/>